

座禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・座禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診 察 日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00~12:00、
 〒502-0017 岐阜市長良雄経878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/

194号 2020.5.1.
 毎月1回発行 座禅洞診療所 松井英介



新型コロナ ドイツと日本

松井 英介

三男がベルリンで小さな和食レストランをやっています。「へのへの」といいます。牛丼や押し寿司・おにぎり・麺類など、いろいろなメニューがあります。インターネットで“HenoHeno Berlin”「へのへのベルリン」を覗くと、料理の写真が出てきます。安心な食材を使い、コンブや鰹節のダシにこだわり、安くて美味しいので、常連さんが多いのです。従業員は、常勤・非常勤あわせて10人ほど。

この店も、今回の新型コロナ蔓延に対するドイツ政府の指示で、休まざるを得なくなりました。ベルリン市労働局の職員が電話で丁寧に相談にのってくれ、手続きをしたところ、60%の賃金補償が得られました。店の家賃や電気・ガスなど光熱水道料は国が保障、店主は払わなくてもよい。これらの保障は休業する前に決められていました。ドイツ政府は緊急事態になったとき、真っ先に人びとの日常が保たれるよう法律を整備しました。息子はベルリンに住んで20年、日本国籍です。ドイツ政府は外国人の暮らしと営業も分け隔てなく支えています。

私は40年ほど前、ベルリンの呼吸器専門病院で1年余り勤務しました。ドイツは病気の予防と医療システムが充実しています。住民が何でも相談できるホームドクターが近くにいます。必要があれば、ホームドクターは詳しい病状を書いて、呼吸器病や感染症などの専門医療機関を紹介します。

ICUにも余裕があります。医師や看護師、人工呼吸器の操作に堪能なスタッフが救急患者に対応しています。今回の新型コロナ感染で重症化したイタリアやスペインの人びとを、ヘリコプターなどで搬送。ドイツのICUは、彼らを受け入れました。

PCR検査のできるテントを、ドイツ政府は無数に用意しました。陰圧にしたテントの中を被検者が歩いて移動します。検者はテントの外から小さな穴を通して手を入れ、検体を採取します。手袋を交換すれだけで、キャップやガウンを変える必要はありません。一日に5万人もの検査ができるのです。

ドイツの新型コロナウィルス感染による死亡率が、他国に比べて大幅に低いのは、最悪のシナリオを8年前に想定し、医療を充実してきたドイツ政府の危機管理の結果です¹⁾。

イタリア、イギリス、スペインなど欧州の国々は、医療体制の削減政策を進めてきました。日本も同類です。日本の感染床ベッド数は、過去23年間に80%以上減らされました【9,974床(1995年)→1,882床(2018年)(厚生労働省統計)】。昨2019年、日本政府が発表した病院の統廃合計画も、変更の予定はなさそうです。日本の新型コロナ危機は、日本政府が招いたと言わざるを得ない状況です²⁾。

考えてみれば、9年前の東電福島第一原発大惨事とき、いち早く原発廃棄に踏み切ったのもドイツ政府でした。政府を動かす市民の創造性や発言力の大切さについて、ユヴァル・ノア・ハラリ（「サピエンス全史」で有名な若き哲学者）が書いていますので、ぜひお目通しください³⁾。

【参考資料】

- 1) 熊谷徹「新型コロナ最悪シナリオを8年前に想定したドイツの危機管理」2020、日経ビジネス <https://business.nikkei.com/atcl/seminar/19/00023/042000163/?P=1>
- 2) 特報「病床がない 削減のツケ、厚労相撤回せず、採算優先の不安 コロナ禍で露呈」2020-04-30、中日、P. 16.
- 3) ユヴァル・ノア・ハラリ著、柴田裕之訳「人類はコロナウイルスといかに闘うべきか—今こそグローバルな信頼と団結を」2020、FINACIAL TIMES, Web河出, <http://web.kawade.co.jp/bungei/3455/>